

千葉県社保協通信

2023年度—No3 2023年 9月 3日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

活かせ! 憲法25条

社会保障の充実を求める自治体要請キャラバン

住民のいのち・くらしを守る自治体の役割発揮を求め

いまこそ 地域から 声をあげ 粘り強く運動を広げよう!!

コロナ禍の再拡大、長期化のもと、物価高騰が追い打ちをかけ、高まる負担増に不安と怒りが広がっています。住民のいのちと健康、暮らしを守るため、そして、新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑えるためにも医療・介護・福祉、公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

こうした中、県社保協の統一行動と位置づけ32回となる「社会保障の充実を求める自治体要請キャラバン」に取り組んでいます。コロナ禍の下、4年ぶりに懇談が実現した自治体もあります。住民のくらしの実態から貧困や病気、高齢や失業による困難は自己責任ではなく、社会的に解決すべきと「住民及び滞在者の安全、健康及び福祉を保持する」自治体の役割発揮を求め、8月末までに54市町村のうち、41自治体(25市15町1村)と懇談しました。

現在、県内には15地域社保協と3つの準備会があります。地域社保協の活性化と社保協のない地域での結成を展望しつつ、事前学習会にも旺盛に取り組みました。

要請項目は「住民税」「医療供給体制」「医療費助成制度」「検診・予防医療」「高齢者疾病予防・

支援対策」「介護保険」「国民健康保険」「障害者福祉」「保育」「減災・防災・定住促進」「生活保護」「就学援助・子育て支援」「年金」など99項目(県・国に要請してほしい項目含む)と多岐にわたります。時間の制約もあり、参加者の関心の高い項目に絞りこんで懇談に臨みました。

国民健康保険では「高すぎる保険料(税)を引き下げてほしい」介護保険では「保険料は制度開始時の2倍に。利用料は1割が精いっぱい。利用料負担が増えたら利用回数減らせざるを得ない」など切実な声を届け、あわせて介護事業所へ物価高騰への支援を訴えました。また、高齢化が進む中、地域からの運動が広がりつつある「带状疱疹ワクチン助成」「加齢性難聴者への補聴器購入費助成」制度の創設・改善を求めました。

一方、県内各自治体の「子どもの医療費助成」「給食費無償化」はこの間大きく前進。「就学援助」については「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」を支給する自治体が増えています。地域から声をあげ、粘り強く運動を広げてきたからこそその成果です。ひきつづき全自治体との懇談をめざします。10月には、海匝(旭市・匝瑳市)地域に念願の社保協が結成される予定です。

保険証とマイナンバーの一本化 賛成!? 反対!?

県社保協・憲法共同センター・消費税連絡会・共同宣伝

7月25日(火)12時~13時、照りつける日差しを避け、千葉駅東口そごう側通路にて共同宣伝を行いました。県社保協など7団体15人が参加。

マイナンバーをめぐる、頻発するトラブル・・・現行保険証を来秋に廃止する政府の方針に自民党内でも懸念の声が上がる中、「保険証とマイナンバーの一本化どう思う?」とシール投票を呼びかけました。「反対」の理由は「そもそも岸田政権信用できない」「情報漏えいが怖いから絶対やめてほしい」「保険証とマイナンバーを一本化する必要はない」



「紙の保険証なくさないでほしい」等々。一方「賛成」に投票の高校生は「紙の保険証はいらないかな?」とも。憲法改悪NO=6筆、消費税5%へ減税を=3筆、保険証廃止するな=5筆、軍事費拡大でなく社会保障充実を=2筆 計15筆。